

歳出

平成31年度は骨格予算として、義務的経費・経常的経費を中心に予算編成を行いました。特に、振興会要望、市民の安心・安全に係るインフラ整備、2020年の鹿児島国体に関連する事業費を優先して、予算編成を行っております。性質別では、物件費は賃金単価の増などにより、約12億7千万円（+6%）、普通建設事業費は垂水中央運動公園改修事業などで約18億円（△10・2%）、災害復旧事業費は平成28年度災害復旧事業終了により、約1億8千万円（△76%）となっております。

市税は、市民税、法人税等の税収増が見込まれることから、約13億5千万円（+1.5%）を計上し、本市歳入の柱である地方交付税は、国の地方財政計画を参考に約37億5千万円（+1.1%）を計上しています。また、市債は、中之平団地建替、垂水中央運動公園改修事業などの大型事業により、約12億5千万円（+3.1%）を借入れる予定です。そのほか、事業にあわせ国県支出金を約22億円、基金からの繰入金金を約8億7千万円計上しております。なお、ふるさと応援寄附金は10億円を計上しております。

垂水市 予算

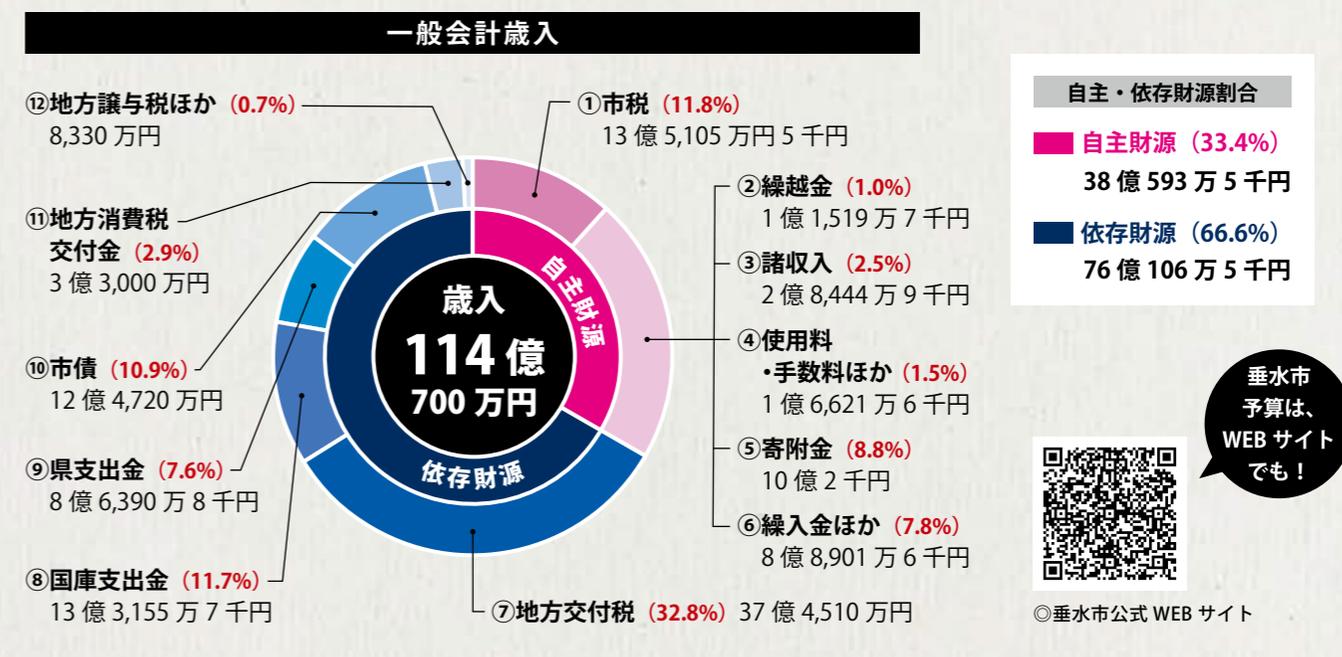
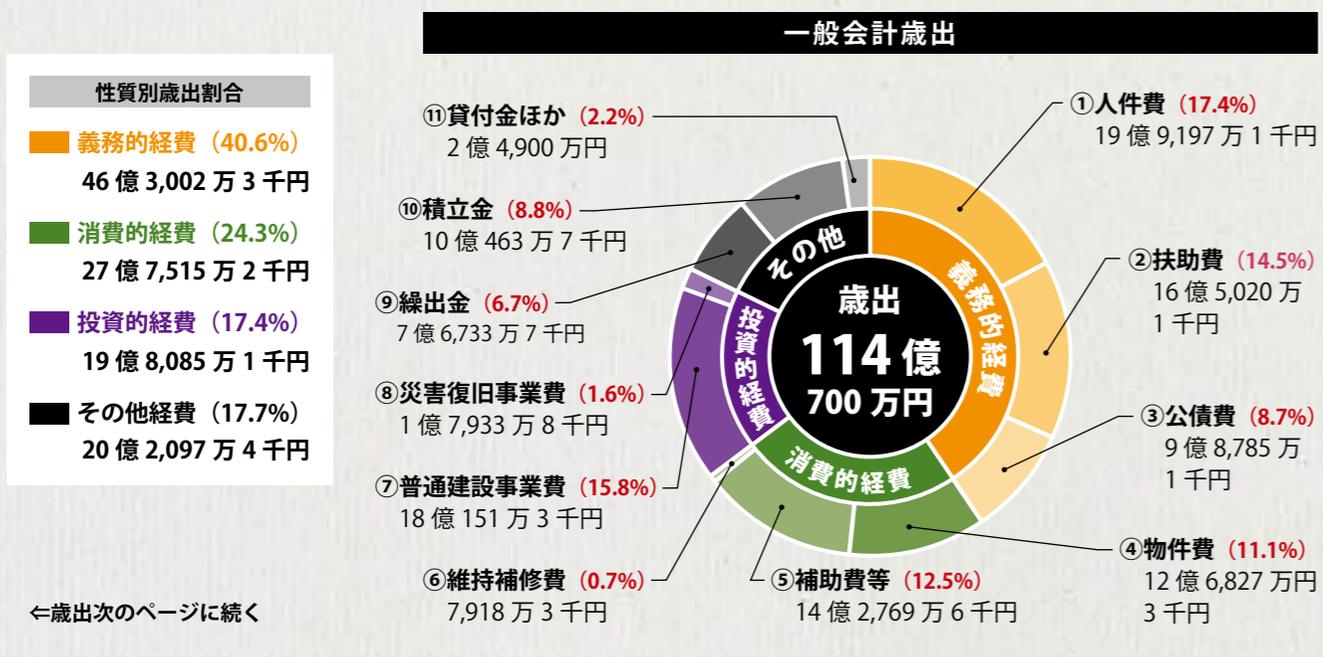
（骨格予算）

※骨格予算とは、市長や議員の改選時期で、政策的な判断が困難なため、政策的経費を抑え、義務的経費を中心に予算編成するものです。

平成31年度の一般会計当初予算は、市長就任時期により、具体的な施策が決定していないため、骨格予算として編成しました。歳入歳出予算の総額は114億700万円（前年度比：△5.9%）となっております。なお、当初予算で計上できなかった政策的な経費については、今後、補正予算にて、編成していく方針です。

歳入

市税は、市民税、法人税等の税収増が見込まれることから、約13億5千万円（+1.5%）を計上し、本市歳入の柱である地方交付税は、国の地方財政計画を参考に約37億5千万円（+1.1%）を計上しています。また、市債は、中之平団地建替、垂水中央運動公園改修事業などの大型事業により、約12億5千万円（+3.1%）を借入れる予定です。そのほか、事業にあわせ国県支出金を約22億円、基金からの繰入金金を約8億7千万円計上しております。なお、ふるさと応援寄附金は10億円を計上しております。



—予算用語—

- 歳出**
- ◎義務的経費 ↓ 支出が義務付けられている経費
 - ①人件費 ↓ 市の職員の給与や退職金の費用、共済費
 - ②扶助費 ↓ 社会保障として支給する費用。生活保護費や乳幼児医療費の公費負担等も含む
 - ③公債費 ↓ 市債元金の償還と利子の支払いに必要な経費
 - ◎消費的経費 ↓ 形を残さない性質の経費
 - ④物件費 ↓ 人件・扶助・維持補修費を除く、消費的費用の総称
 - ⑤補助費等 ↓ 主に市内団体等への補助金や組合負担、報償費等
 - ⑥維持補修費 ↓ 市が管理する公共施設等を維持する費用
 - ◎投資的経費 ↓ 道路建設、河川改修等公共事業費や国・県等の行う公共事業負担額
 - ⑦普通建設事業費 ↓ 道路や公共施設の建設事業に要する費用
 - ⑧災害復旧事業費 ↓ 災害発生時の原状復帰のための費用
 - ◎その他の経費 ↓ 義務・消費・投資的経費以外の経費
 - ⑨繰出金 ↓ 一般会計から特別会計へ支出される費用
 - ⑩積立金 ↓ 基金等に積み立てるための費用
 - ⑪貸付金ほか ↓ 林業・水産・畜産振興資金の貸付金等

—予算用語—

- 【用語説明】**
- 歳入**
- ◎自主財源 ↓ 地方公共団体が自ら収納できる財源
 - ①市税 ↓ 市民税や固定資産税等の市に納められた税金
 - ②繰越金 ↓ 前年度からの繰越金
 - ③諸収入 ↓ 市の預金利子や各種貸付金の元利収入等
 - ④使用料・手数料ほか ↓ 市営住宅の家賃や、保育所・老人施設の入所負担金等
 - ⑤寄附金 ↓ ふるさと応援寄附金等
 - ⑥繰入金 ↓ 基金や特別会計等からの繰入金
 - ◎依存財源 ↓ 国や県からの交付金や借入れによる財源
 - ⑦地方交付税 ↓ 地方公共団体が等しく運営できるように、一定の基準により国が交付するお金
 - ⑧国庫支出金 ↓ 特定事業に対し、国から交付されるお金
 - ⑨県支出金 ↓ 特定事業に対し、県から交付されるお金
 - ⑩市債 ↓ 公共事業等の財源とし、国や金融機関から借りたお金
 - ⑪地方消費税交付金 ↓ 地方消費税の一部を、人口等により案分されて国から交付されたお金
 - ⑫地方譲与税 ↓ 国税として徴収され、そのまま国から地方公共団体へ与えられた税金